



平成21年度 秋田県総合教育センター

# 総合教育センターだより

第109号  
2009年 5月26日  
〒010-0101 湯上市天王字追分西29-76  
TEL 018-873-7200 (代表)  
http://www.akita-c.ed.jp/

## 公開講演のお知らせ

これらの講演は、講座受講者以外の教育関係者の方々にも、優れた英知に直接触れる場を提供することを目的に開設するものです。なお、広く県民の方々も聴講することができます。聴講希望者は、センターホームページから「公開講演聴講申込書」(様式9)をダウンロードし、開催日の1週間前までに申し込んでください。

月日 (曜日)	時刻	演題・講座番号	所属・職名	講師名
6月16日 (火)	14:30 ～16:00	「授業改善に向けて」 A-10,A-11,A-12 A-13,A-14	愛知県教育委員会義務教育課 主査	玉置 崇
8月20日 (木)	13:00 ～16:00	「発達障害の子どもがいる 学級づくり・授業づくり」 C-36	東京都立港特別支援学校 教諭	川上 康則
10月6日 (火)	14:30 ～16:00	「言語活動の充実から拓く 授業改善」 B-1	文部科学省 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官	富山 哲也
10月16日 (金)	12:45 ～15:00	「これからの生徒指導」 B-16	国立教育政策研究所 生徒指導研究センター 総括研究官	滝 充
10月30日 (金)	14:30 ～16:00	「経営改善に生かす 学校評価の在り方」 A-20,A-21	玉川大学教職大学院 教授	小松 郁夫
12月11日 (金)	13:30 ～15:30	「新学習指導要領の 趣旨を生かした道徳教育」 B-13	東京学芸大学 教授 前 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官	永田 繁雄

\* 講座案内では12月4日になっていましたが、講師の都合により12月11日に変更となりました。

## 研修講座の追加募集について



小学校5年研の様子

**研修講座の追加申し込みを受け付けています。**詳しくは、総合教育センターホームページ左欄の教職員研修「研修講座の追加募集」から、追加募集の講座一覧をご覧ください。追加申込の手続きは、追加申込者名簿(様式2)をダウンロードし、当該講座の1週間前までに各機関へ送付してください。定員に達した講座については、随時ホームページでお知らせいたします。

## 特別支援教育の推進に向けて

### － 校長会における特別講義について －

4月10日、秋田大学の武田篤教授による「高等学校における特別支援教育」～発達障害の理解と支援～を開催しました。これは、高等学校における特別支援教育の推進にあたっては校長の理解からくる意識の高さが重要であることから実現したものです。講義の中では、障害を理解することの大切さと担任任せではなく学校全体で支援することの重要性が示されました。校長自らが、障害に関する認識を深めるために研鑽しながら取り組むことが大切となります。

同様の趣旨で、4月17日には小・中学校校長会でも武田教授の講義を開催しました。校長の特別支援教育への理解の度合いが推進の鍵を握っていることは小・中学校でも同様です。

校長先生方には、ぜひリーダーシップを発揮し学校経営にあたっていただきたいと願っております。なお、来年度からは、センターでの新任校長研修講座にて特別支援教育の講座を実施する予定です。



「総合教育センターだより」は、センター事業・生徒指導・特別支援教育の情報を中心として作成・発行しています。



## みどり学園との交流会

総合教育センターでは、隣接する県立養護学校天王みどり学園との教育連携に取り組んでいます。4月28日には、みどり学園の児童生徒とセンター職員との交流会が行われました。小学部、中学部、高等部108名のみなさんとボーリングやかるた取り、蒸しパンづくり、レクリエーション、ユニホック競技などを行いました。共に楽しい時間を過ごすことができました。なお、日常的に触れ合う機会として定期的のみどり学園の昼休みにセンター職員が訪れ一緒に遊ぶことになりました。



白熱のユニホック競技

### <センター研修員の感想>

- 一人一人がやれることを一生懸命にがんばっていました。ユニホックに参加したのですが完敗でした。交流会のことを話しながら楽しく食事をすることができました。みどり学園職員の一人一人に合わせたかかわりを見せていただき勉強になりました。
- 特別支援と一言で表せない幅を感じました。一人一人が違い、職員は一人一人に丁寧な対応をしていました。交流会のおかげで子どもたちのがんばり、職員のきめ細かな対応に触れることができました。

## USBメモリ等感染型コンピュータウイルスに注意!

USBメモリを介して感染するコンピュータウイルスが急増していますので、十分ご注意ください。次のような場合に感染してしまいます。



ウイルス対策は職場全体で

詳しくは、当センターのホームページ(<http://www.akita-c.ed.jp/>)をご覧ください。

トップページ⇒花まるっ教育ネットkna⇒kna活用情報⇒USBドライブ等感染型ウイルスについて

### ●セキュリティソフトが導入されていない場合

パソコンが感染すると、他のUSBメモリにも感染を広げてしまいます。

### ●セキュリティソフトが導入されていても、インターネットに接続していない場合

ウイルスは進化していくため、常にソフトを更新していなければ感染します。

### ●セキュリティソフトが導入されていても、スパイウェアに対応していない場合

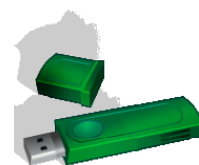
USBメモリ感染型の多くはスパイウェアです。

県内での感染の事例を2件紹介しますので、参考にしてください。

### <県立学校での事例>

受講者2名(両名とも同じ県立学校に所属)が、センター研修中に私物USBメモリをパソコンへ取り付けたところ、2個ともUSBメモリ等感染型ウイルスが検出された。センター内のパソコンにはスパイウェアやコンピュータワームに対応したセキュリティソフトが導入されている。その場でウイルスを隔離し、一旦、USBメモリを取り外した。その後、もう一度USBメモリを取り付けウイルスを完全に駆除した。

この2名の受講者が所属する県立学校の印刷用共有パソコンからウイルスが発見された。このパソコンはインターネットに接続されていないため、セキュリティソフトが更新されていなかった。そのため、このパソコンを介して、この県立学校教員のUSBメモリや他のパソコンが感染していた。



手軽なUSBが…  
脅威となる場合も

### <公立中学校での事例>

中学校教員が、私物USBメモリをセンター内のパソコンへ取り付けたところ、USBメモリ等感染型ウイルスが検出された。センター内のパソコンにはスパイウェアやコンピュータワームに対応したセキュリティソフトが導入されている。この教員が所属する学校のパソコンには、セキュリティソフトが導入されていなかった。そのため、多くのパソコンからウイルスが発見された。

## 今年度の研修員は大学講座も受講中

### ～秋田大学講座受講の感想から～

- 現役の大学生と新学習指導要領のキーワードや教職に関する言葉を一つ一つ再認識することができたので有意義であった。
- 教授に挨拶に伺ったところ、どの教授も講義を快く引き受けてくださった。これまでの実践を振り返ったり、以前学習したことを再確認する機会となった。しっかり勉強して研修に活かしたい。
- どの講座でも新学習指導要領で新しく取り入れられた点や重視された点について丁寧に説明されていた。現場で体験的に理解していることを理論的に整理できるのは、この移行期にあつてとても恵まれていると感じる。

